



第1回学校運営協議会開催

令和4年度の学校運営協議会がスタートしました。4月20日の午後7時に、西中音更小学校の家庭科室に9名の協議会委員が集まりました。

新年度の体制は

会長 大友淳一さん(西中音更老人クラブ会長)
副会長 笠井俊宏さん(元PTA会長)
福地見和子さん(西中音更JA女性部副代表)
竹中 章さん(元PTA会長)
長岡克浩さん(現PTA会長)
松井眞治(校長)
佐藤千秋(事務局長:教頭)
太田育良(事務局員:教諭)

今年度はこの体制で、知恵を出し合い、より豊かな教育活動が実現できるよう取り組んでいきます。

第1回の内容は

各委員に辞令が交付され、会長と副会長が選出されました。会長に大友淳一さん、副会長に笠井俊宏さんが就任しました。

次に、松井眞治校長から学校経営計画について説明があり、今年度の方針が示されました。

今年度の活動内容を定めるために、9名の参加

者を3つのグループに分け、「西中音更の子供たちの未来とはどうあってほしいか」について意見を交流しました。

その後、西中音更小学校の教員から出された「地域の人に協力してほしいと願っていること」が事務局より提示されました。

学校としては、地域の人々と子どもたちが実際に関わり合いながら学びを深めたり、体験をしたりすることを目指しております。

学校運営協議会に学校からお願いしたいこと

- ・「畑のお世話の仕方」
- ・「お菓子作り」
- ・「消防会館見学」
- ・「陶芸教室」
- ・「スキー学習での技術指導」
- ・「書道の指導」

参加した委員からは、これらについて協力できる人材や施設・設備を紹介することは可能であると言っていました。

委員の皆さんからは、次のようなアイデアが出されました。

- ・「地域の作物である小麦を用いたピザづくり」
- ・「キャンプと防災教育を関連付けた活動」
- ・「学校園で栽培したジャガイモを道の駅で販売」
- ・「麦感祭りでの豊年太鼓の披露」
- ・「小麦や牛乳を用いた料理体験」

この他たくさんのアイデアが出る活発な話し合いが行われました。

今年度は、食農教育や防災教育の充実を図りつつ、これまで行われてきた西中音更小学校の教育活動をさらに発展させていくために地域の力を借りたいと思っています。

最後に、委員から西中音更小学校の児童数が減少していることについて、今後、地域としてどのような取り組みができればかについて話題が出されました。

地域とともに子どもを育てる取組



4月13日に青空交通安全教室が行われました。指導には、駒場地区交通指導員などの皆さんにご協力をいただきました。地域で子どもを見守り、育てる活動が行われています。

学校運営協議会(コミュニティ・スクール)とは

学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。